



〈本校教育〉探究、協働、創意

〈令和7年度重点目標〉これまでの自分を超えていこう

学校
だより

蛍雪の功

令和7年4月11日(金)

第1号

発行責任者：志賀嘉津美

☎35-2237

入学おめでとうございます

4月7日、新入生127名を迎え、令和7年度入学式が挙行されました。たくさんのご来賓や保護者の皆様、教職員が見守る中、緊張した表情を見せながらも担任の呼名に大きな声で返事を返すその光景は感動的でもありました。

生徒会長の佐藤さんの新入生に寄り添う「歓迎のことば」も、新入生代表の菊池さんの希望や喜びに満ちあふれた「誓いのことば」も大変立派でした。

新入生の皆さん、何事にも全力で取り組み、中学校生活を大いに楽しんでください。



新年度 一週間が経ちました

新年度がスタートして一週間が経ちました。4月7日配付の「日課の変更について」のとおり、本年度から、登校時間を8時から8時5分に変更しました。これは、ゆとりを持って登校し、ゆったりとした気持ちの中で、朝の読書から一日をスタートしてほしいということから設定した時間です。日を追うごとに少しずつ全体の登校時間が早くなっており、朝の時間の大切さが少しずつ広がってきたように感じます。

令和7年度は、「これまでの自分を超えていこう」を重点目標とし、授業や部活動、学校行事や生徒会活動など様々な場面で常に意識しながら一日一日を過ごしてほしいと思います。「未来の自分ため」に目標を明確にし、何事にも強い意志をもって粘り強く実践できるよう支援していきます。



新入生との顔合わせ 生徒会対面式

生徒会対面式を4月8日に開催しました。生徒会推奨の制服姿を「正しい or 正しくない」のクイズで出題したり、先輩らしい挨拶のお手本を示してくれたりなど、「さすが中村一中生」と感じる場面が多々ありました。その後は、各部活動の部員が楽しいパフォーマンスを盛り込みながら、部活動紹介を行いました。

新入生にとって、堂々と発表したり、演技をしたりする先輩達を見て、「感動」や「憧れ」の気持ちを持ったのではないのでしょうか。今後も上級生が模範となり、下級生を導いていく生徒会に期待しています。



学校だよりのタイトルをこれまで通り、「蛍雪の功」といたしました。これは、本校の校章に描かれている「蛍と雪」の印に込められた「蛍雪の教え」から引用した言葉です。意味は、「苦労して頑張った勉強の努力が、後で成功につながる。」ということです。

なぜ、「蛍と雪」がこのようなことを意味するか……。理由を考えてみたり、調べてみたりしてくれたらうれしいです。

学校生活の様子は、学校だより「蛍雪の功」やホームページでも随時お知らせします。本校のホームページには右にあるQRコードからお入りください。

学校ブログ

